

議
町

長 日程第3「町長の行政報告」に入ります。

長 皆さん、おはようございます。朝夕が随分と寒くなり、また寒暖差がある中で、議員各位におかれましてはますます御健勝のことと、心からお喜びを申し上げます。

さて、去る10月2日に平成29年第1回松田町議会臨時会の招集告示をいたしましたところ、大変御多用な中、議員全員の御出席を賜り、ここに本臨時会が開催されますことを、まずもって御礼を申し上げます。ありがとうございます。また、多数の傍聴者の皆さん方にも御臨席いただいて、感謝申し上げるところでございます。

最初に、9月10日に執行されました松田町町長選挙におきまして、再び町民の皆さん方からの御信託をいただき、引き続き町政経営を担うことになりました。9月25日には2期目の初登庁を迎え、改めて身が引き締まる思いであります。

本臨時議会は2期目に入り最初の議会ということになりますので、今後4年間の行政経営に向けての所信を述べさせていただきます。

改めまして、このたび町民の皆さん方の信託を受け、松田町長として2期目の町政経営を担うことになりました。これまでの4年間、常日ごろから町政に対し御支援賜り、次の4年間に向けて御期待をいただいた町民並びに議員の皆様方には感謝を申し上げます。また、初当選以来4年間の町政経営におきまして、さまざまな立場において御指導、御鞭撻を賜りましたこと、心から厚く御礼を、感謝を申し上げたいというふうに思います。

初当選後、松田町にはさまざまな課題が存在していることがわかり、1期4年間に解決に向け、短期・中期・長期に分け、対策を講じ、また準備を進めてまいりました。課題の1つに、松田町は全国的なスピードより約三、四年ほど早めに超高齢化社会を迎え、少子化もあり、人口減少が慢性的に続いておりましたが、そのような中、平成26年5月に民間団体である国立社会保障・人口問題研究所より出された資料、いわゆる「増田レポート」により、全国約1,800の市町村のうち、約半数に当たる896市町村が消滅可能性都市として名指しされ、県内においても9自治体、そのうち6自治体が県西地域であり、松田町も

含まれるという結果になりました。

その後、地方の活性化が不可欠であるということから、地方創生が叫ばれるようになり、我が松田町もその動きにおくれることなく、地方創生に必要な人口減少抑制策を講じるべく、約35年後の平成52年度の人口推計を社会人口問題研究所が示す7,055人より高い、かなり高い目標数値として1万人を掲げ、地方創生地域再生計画をもとに、さまざまな対策と必要な種をまいてまいりました。その間、町民並びに議員の皆様方の御協力を賜り、さまざまな事業を展開してきたことが功を奏し、減少カーブが緩やかになってまいりました。今後さらに人口減少を抑制するためには、人口動向について自然増減、社会増減の2つに区分し、明確な対策として次の施策が必要と考えております。

自然減少を抑制するためには、健康寿命の延伸による元気な高齢者の増加。出生率を上げるためには、安心して産み育てられる子育て環境の充実。また社会減少を抑制するためには、魅力ある住宅環境整備。雇用と賑わいの創出による魅力の向上などを推進することが人口減少抑制につながることをわかりましたので、その上で政策の3本柱といたしまして「福祉の充実・安心安全」「雇用と賑わいの創出」「人を育てる」を掲げた次第であります。

現在、松田町の高齢化率は約32.6%となっており、65歳以上の方を生産年齢人口世代の方がおおむね2人で支えることになっている状況であります。高齢化率は平成52年までは上昇すると推計されていますので、今後も福祉の充実を図り、子供から高齢者まで健康的な町民がふえ、安心して暮らせる松田町になる施策を展開してまいります。

また、若い世代の定住化につきましては、幼稚園・保育所における収容施設の確保、小・中学校の教育環境整備、若者・子育て世代優先住宅整備、魅力ある小田急新松田駅・JR松田駅の2駅周辺整備など、若い世代が住みたくなる街づくりを推進いたします。具体的には、旧土木事務所跡地を女性が輝く社会を目指した女性支援センターとして整備、文化センターを複合施設へリニューアルし、さまざまな世代が交流する生涯学習センターとして、また松田小学校の木造校舎への建てかえ工事、人口増加策並びに収益事業でもある籠場・町屋の町営住宅2棟の建設、各町有地の利活用による地域の活性化、寄七つ星ヒ-

リングビレッジ事業の加速、再生可能エネルギー利活用促進による先進的な住環境整備などなどについて、引き続き計画的に進めることで松田町の魅力をさらにアップしてまいります。

これらの具体的な施策を実行していくためには、4つの要素といたしまして「町民との協働」「行・財政改革」「シティプロモーション」「官民連携事業の推進」が必要となりますので、この要素を未来志向で最先端のICTやAIを活用し、さまざまな施策と融合しながら、日本のモデルとなるIT先進自治体を目指してまいります。松田町にはハード・ソフト両面で課題が山積しておりますが、今回の選択が松田町の未来へ向けて、全ての町民の皆様方に正しかったと言っていただけのように、オール松田で取り組んでまいります。

最後に、未来を見据えた行政経営を推し進めていく上では、しっかりとした財政運営を行っていく必要があります。人口減少により税収が減ることが予想できますので、人口減少は緩やかに抑制しつつありますが、人口のピークであった平成7年1万3,240人の町民がいたころと同様な町民サービス提供は難しいものがあり、今後現状を維持するだけでも幾つかの課題や条件をクリアしていく必要があります。

そこで、町民の皆様方への負担を極力抑えるためには、これまでの事業をゼロベースで総点検し、スクラップ・アンド・ビルドを徹底するとともに、「選択と集中」の考えのもと、めりはりのある財政経営を進めることと、「協働」というキーワードのもとに町民、行政、団体、企業が協力し合って、一緒に働き、汗をかくことが松田町の未来にとって大切なことであると考えております。

これからの4年間、町民並びに議会の皆様方の御理解、御愛顧を賜り、町政経営に対しさらなる御支援、御協力をお願い申し上げるとともに、議員各位の御指導、御鞭撻を衷心よりお願い申し上げます、所信を表明させていただきます。

さて、この臨時会に付議いたしました案件でございますが、まず、承認第3号一般会計補正予算（第4号）につきましては、10月22日執行の衆議院議員選挙にかかります県の委託金と、その同額の選挙執行経費を去る29日に専決処分をさせていただいた補正予算の承認でございます。議案第39号一般会計補正予算（第5号）につきましては、9月定例会でお認めいただきました松田町再生

可能エネルギー等導入促進基金条例に伴いまして、避難所等に設置した太陽光発電設備により発電した電力のうち、余剰となった電力を電気事業者に売電する歳入と、それと同額の避難所施設等太陽光発電設備売電基金への積立金を補正させていただくものであります。

これら提案させていただく各案件につきましては、よろしく御審議の上、御承認、御議決賜りますようお願い申し上げます、私の行政報告とさせていただきます。本日は何とぞよろしくお願い申し上げます。

議

長 町長の行政報告を終わります。